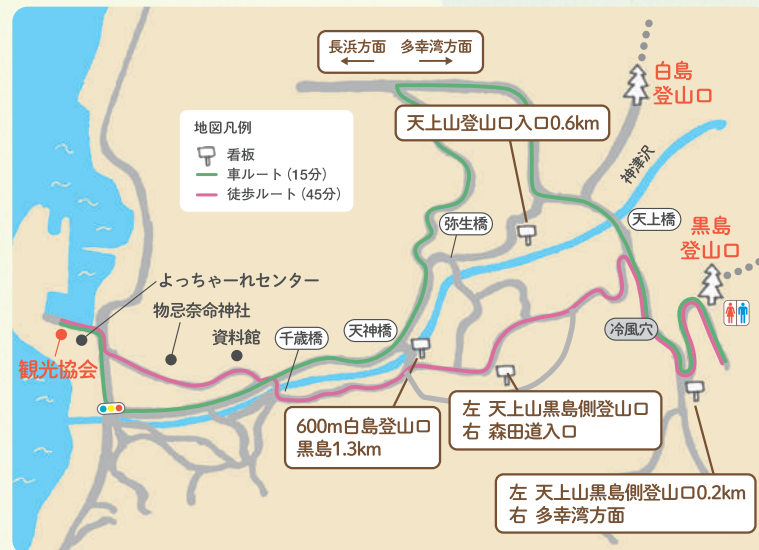


神津島天上山 山頂MAP

観光協会から登山口への行き方



天上山のみどころ

神津島の中央にそびえ立つ天上山。標高は572mながら、景観は日本アルプスクラスの稜線を思わせる不思議な顔を持つ山である。山のかたちは台形で山頂には大小さまざまな岩が連なり白い砂漠や池が点在している。また、四季折々に咲く美しい花や植物とともに、晴れた日には富士山まで見渡せる景観で一日中楽しめるため、お弁当をもっていくのがオススメ。

登山する時の注意点



お手洗いは黒島登山口・白島6合目・不動池（バイオトイレ）の3ヶ所です。



天上山には日陰がないため、特に夏場は水分補給を忘れずに。登山口付近に自販機等はありません。



国立公園の特別保護区に指定されているため動植物の採集は禁止です。また歩道からはずれないようにしましょう。



天上山でのキャンプおよび火気の利用は禁止です。

天上山と神話

天上山は西暦838年の大噴火によってできた山で昔から島民が霊山として信仰している場所である。特に火口跡のひとつである不動池は、古くは島の漁師の信仰の対象でした。いまも池の中央に龍神を祀る社があり、近くには不動尊や大日如来をまつる小さな祠が佇み、トレッキングの皆さんを優しく見守っています。また山頂の西側に位置する不入方沢は、神代の世に伊豆の神々が、島に水を分けるための会議を開いたという水配り神話の舞台となった場所である。

つる小さな祠が佇み、トレッキングの皆さんを優しく見守っています。また山頂の西側に位置する不入方沢は、神代の世に伊豆の神々が、島に水を分けるための会議を開いたという水配り神話の舞台となった場所である。

黒島登山口
▲190m

※海を背に約1時間の急な上り坂がつづきます。

その昔、島のおばあさんたちがお正月の準備用に神の葉を採りによってきたことから「ババア池」と名付けられた。湿地帯になっており、湯水8割はふんわりとした苔に覆われている。

ババア池

白島10合目

白島6合目

治山工事跡

最高地点(三角点)

表砂漠

裏砂漠

黒島展望山

黒島山頂10合目

オロシヤの石塁

千代池

不動池(ハート池)

不動尊

新東京百景展望地

裏砂漠展望地

黒島登山口

天上山登山口入口0.6km

黒島登山口

360度の大展望台が満喫でき、空気の澄んでいる日は富士山や南アルプスまで見える。

天上山山頂上部にある40ほどあるピークのなかの最高峰で眺望に恵まれている。

水配り伝説の舞台となった場所として、今でも神聖な場所として、「この沢に入らないうえがらす」との言い伝えが残されている。

天上山の崩れた様な白い斜面の部分。ここで行われた治山工事と砂防ダムによって集落が自然災害から守られている。

黒島山頂から10分程登ったところにあり、眼下に広大な太平洋を一望できる。

江戸時代に異国防衛のために作られた石塁跡。

火口跡に雨水が溜まってできた池。湯水時には干上がり苔が覆いつくす。

池の中心には龍神が祀られています。また近くには不動尊が祀られています。

雨が降ったあとはハート型に水が溜まった不動池を望める。

新東京百景に選ばれた展望地で、バウムクーヘンのような地層の断面が伊豆諸島が見渡せる。

月面を思わせるような地形の砂地で静寂な場所。ツツジの時期になると砂漠の白とツツジのピンクのコントラストが美しい。

足元の断崖越しに三宅島、御蔵島や根田島などが望める。

Let's go walking!

地図凡例

① 初心者向け最短コース (3.5km・3時間30分)

② 山頂完全周遊コース (6.5km・6時間)

● コースタイムの区切り

1 現地に立つ地点標

2 道標

3 解説板

4 足元注意

5 鳥居

6 トイレ

7 テーブル・ベンチ